



 西岡化建株式会社

2016 年度 環境活動レポート



対象期間 2015年9月21日～2016年9月20日

2016年10月25日発行



第19回環境コミュニケーション大賞
環境レポート部門 優良賞をいただきました！



西岡化建は特定化学物質等、有害物質を
含まない材料で安心と安全の環境工事を
実施いたします

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業です

®環境省
エコアクション21
認証・登録番号 0007850





もくじ

ごあいさつ	3
環境理念・環境方針	3
組織の概要と認証・登録の対象組織・活動	4
経営理念	5
環境経営システム	5
主な環境負荷の実績	6
環境目標・実績	6
環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	7
・電力による二酸化炭素排出量の削減	7
・自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減	8
・一般廃棄物の削減	9
・混合廃棄物の削減	9
・水道水の削減	11
・PRTR 物質使用量の削減	11
・グリーン購入	12
・工事施工上の環境配慮	12
・社会貢献	13
環境関連法規等の遵守状況確認および評価ならびに違反、訴訟等の有無	13
外部からの苦情	13
環境保全活動の取り組み紹介	14
環境施工事例	17
その他の報告	18
代表者による全体の評価と見直し	19



弊社は創業以来、特殊合成樹脂を原材料として、防水工事、防食工事、塗床工事、塗装工事等の責任施工を手掛けて参りました。

近年の地球温暖化の脅威かと思える災害や、資源の将来における枯渇に誰もが危惧する中で、今有る資産を大切に残し、雨風からの劣化、老朽化を防ぐため日々技術の研鑽を続けて参りました。地球環境保全を目指し、環境に配慮した原材料の仕様、公害防止のための環境対応工法、環境改善を目的とする建設現場に技術を結集し、取り組んでいきます。特に改修工事においては、建造物の老朽化防止や再生において耐用年数の延長等で建替えによる環境負荷への低減に繋がるものと思っております。

最近においては、工事材料に含まれる特定化学物質が施工現場において作業関係者や周辺への安全と健康を配慮した予防規則の法令遵守が問われております。弊社では有害物質が一切含まれない新環境型材料による工事で作業関係者や周辺、近隣に安全と安心を心がけた施工に取り組めます。



代表取締役 **西岡勝男**

環境理念

西岡化建株式会社は、本業である建設工事を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に全社員とともに自主的・積極的に取り組みます。

環境方針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 電力・燃料による二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
3. 廃棄物の削減とリサイクルと適正処理を推進します。
4. 節水行動や作業改善で水使用量を削減します。
5. 水性材料の使用により、溶剤の使用量および揮発量の低減に努めます。
6. 特定化学物質を含有しない防水材の使用により、環境負荷低減への取り組みをします。
7. グリーン購入やグリーン調達に努力します。
8. 地域の環境活動（資源ごみ回収）に積極的に参加します。
9. この環境方針を全従業員に周知し、教育啓発活動を実践していきます。

制定日：2010年10月25日

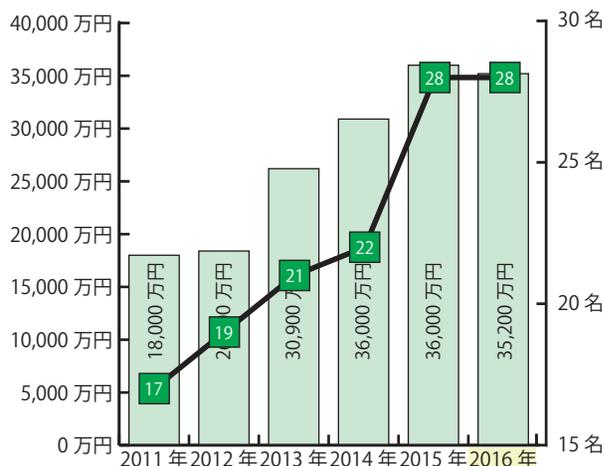
改定日：2015年10月25日

代表取締役 西岡 勝男

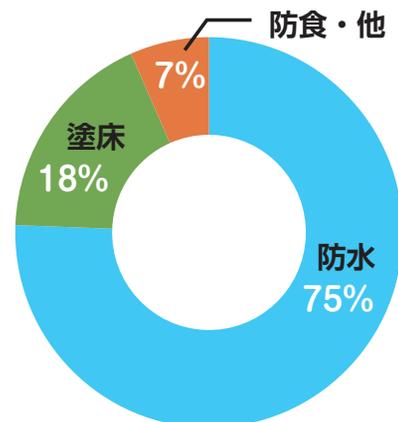


組織の概要と認証・登録の対象組織・活動

- (1) 事業者名 西岡化建株式会社
代表名 代表取締役 西岡 勝男
- (2) 登録組織名 西岡化建株式会社
・ 茨木事業所 大阪府茨木市郡5丁目21番16号
・ 資材倉庫 大阪府茨木市郡5丁目21番16号
(登記上の本社と社員寮は事業を行っていないため対象外)
- (3) 環境管理責任者 専務取締役 西岡 洋子
環境事務局 営業部 神谷 真菜
連絡先 TEL 072-643-1125 FAX 072-643-1127
E-mail info@nishiokakaken.com
URL http://www.nishiokakaken.com
- (4) 事業内容・活動 事業活動：防水工事、防食工事、塗床工事、塗装工事
一般建設 建築工事業・防水工事業・塗装工事業・内装仕上工事業
大阪府知事許可（般-28）第51113号
- (5) 事業規模
・ 資本金 2,000 万円
・ 売上高 3 億 5,200 万円
(2016 年 38 期 9 月実績)
・ 主要工事完成高 290 件
- | | 茨木事業所 | 資材倉庫 | 合計 |
|------|-------|------|------|
| 従業員数 | 28人 | | 28人 |
| 延床面積 | 143㎡ | 132㎡ | 275㎡ |
- (6) 事業年度 9月21日～翌年9月20日



年間売上高と従業員数の推移



工事別売上高構成比

一、技術の研鑽

私達は、研究開発精神にのっとり、優れた技術を提供し常にお客様の「ニーズ」に応える工事を遂行します。

一、環境の改善

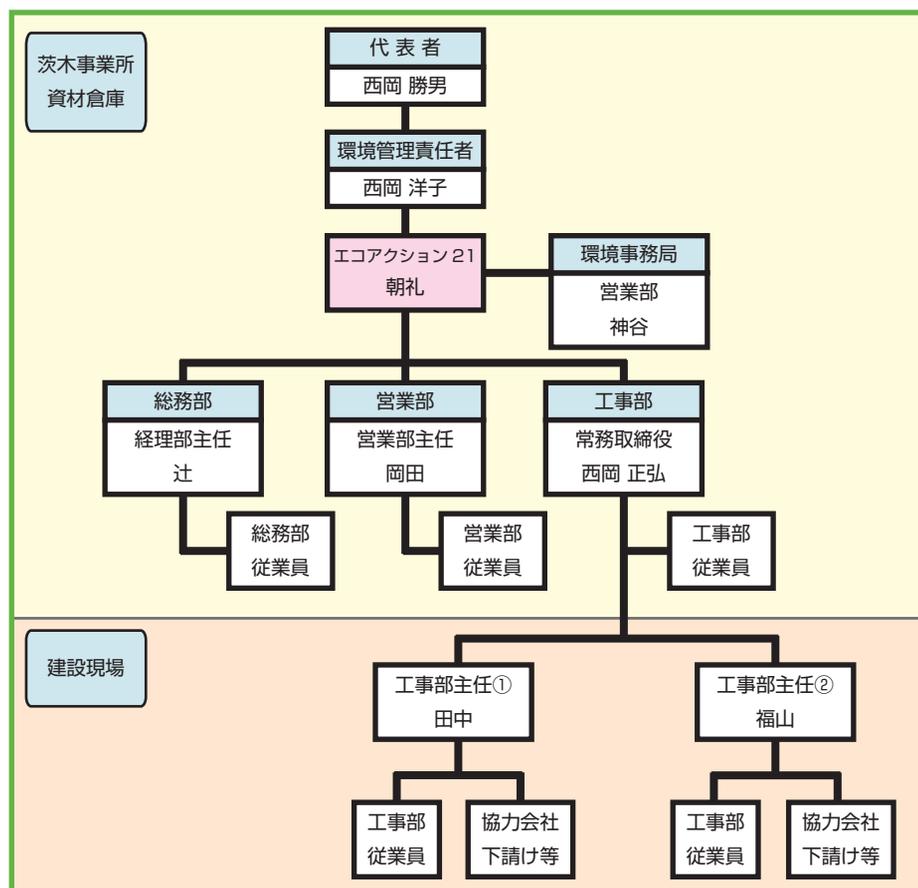
私達は、製造現場における環境改善と、生活環境の向上を提言し、社会から信頼される企業を目指します。

一、より良い工事と共育ち

より良い工事をモットーに、西岡化建は共に働き、共に育ち、社会に貢献する事を目指します。

 西岡化建株式会社

 環境経営システム



西岡化建株式会社
茨木事業所



現場



主な環境負荷の実績

項目	単位	2014年	2015年	2016年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	58,749	62,222	60,918
廃棄物排出量	t	67.03	68.47	90.83
一般廃棄物排出量	t	0.70	0.69	0.59
産業廃棄物排出量	t	66.33	67.77	90.24
水道水使用料	m ³	93	96	115
化学物質 (PRTR物質)	kg	7,012	8,023	4,849

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.522 kg -CO2/kWh



環境目標・実績

項目	年度	基準値	2016年			2017年	2018年
		(基準年度)	(目標)	(実績)	達成状況	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素総排出量 (CO2換算係数0.522)	kg-CO2	6,670	7,337	10,203	✕	7,270	7,203
	基準年比	2010年	110%	153%		109%	108%
売上高原単位評価 (電力)	$\frac{\text{kg-CO2}}{\text{千円}}$	0.034	0.037	0.029	○	0.037	0.036
自動車燃料の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	42,722	43,576	49,975	✕	49,557	49,130
	基準年比	2010年	102%	117%		116%	115%
売上高原単位評価 (燃料) ※来期からは燃費評価を予定	$\frac{\text{kg-CO2}}{\text{千円}}$	0.215	0.219	0.142	○	0.249	0.247
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	49,392	50,913	60,178	✕	56,827	56,333
一般廃棄物の削減	kg	696	696	589	○	689	682
	基準年比	2010年	100%	85%		99%	98%
混合廃棄物の削減	t	44	44	87	✕	84	82
	基準年比	2013年	100%	195%		190%	185%
水道水の削減	m ³	115	108	115	✕	114	113
	基準年比	2010年	94%	100%		99%	98%
PRTR物質使用量の削減	kg	4,906	4,857	4,849	○	4,807	4,758
	基準年比	2013年	99%	99%		98%	97%
グリーン購入	%	-	35%	43%	○	36%	37%
工事施工上の環境配慮 環境対応型防水材「ワンガード・ゼロ」の使用量	kg	-	-	66,780	-	101%	102%
	-	-	-	-			

LPG、灯油は少量のため目標としない。

なお、来年度からは基準値の基準年度を 2016 年とする予定。



環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容



電力による二酸化炭素排出量の削減

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
目標7,337kg-CO2 ⇒実績10,203kg-CO2	×
目標110% ⇒実績153%	
売上高原単位評価	○
目標 0.037kg-CO2/千円 ⇒実績0.029kg-CO2/千円	
取組計画	達成状況
・空調温度の適正化（冷房28℃、暖房20℃）	○
・不要照明の消灯	○
・ゴーヤの栽培	◎
・駐車場の植栽	◎



省エネ法 2017 年度 目標基準値達成商品

評価と次年度の取組内容

現場の工事内容等により、従業員の出入り時間が増えた月もあり、目標数値達成には至りませんでした。不在時の照明消灯や空調管理、ゴーヤの栽培は継続して行なうことができたため、売上高原単位評価は達成できました。

昨年と比較しても今年は8月9月と猛暑日が続き、熱中症対策に向けて、ウォーターサーバーと冷蔵庫、冷凍庫を設置しました。現在の使用頻度は低いですが来期に向けて節電対策を図っていきます。

また、会社玄関前の照明をLED電球に交換しました。これまでの消費電力が13wから4.4wに変わるようなので電球が切れた場所から順次交換していこうと思います。



緑のカーテン

5月
ゴーヤの苗を
植栽しました



<外観>

7月、グリーンカーテンの完成です！
1ヶ月半～2ヶ月で立派に育ちました。



<室内>

室内から見ると厳しい日光が遮られています😊



「緑のカーテン」とは植物をカーテンのように育て、夏場の激しい日光を遮り和らげることをいいます。室温の上昇を抑える遮熱効果・冷却効果があり、エアコンの使用を抑えることができます。

弊社ではゴーヤを茨木事業所1階の窓面に這わせて育てました。



9月、枯れて役目を終えた緑のカーテンは撤去しました。今年もお世話になりました。





自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
目標43,576kg-CO ₂ ⇒実績49,975kg-CO ₂ 目標102% ⇒実績117%	×
売上高原単位評価 目標 0.219kg-CO ₂ /千円 ⇒実績0.142kg-CO ₂ /千円	○
燃費評価 ガソリン車13.3km/ℓ ディーゼル車10.4km/ℓ	-
取組計画	達成状況
・アイドリングストップ	○
・効率的なルートでの移動	○
・材料、運搬の最小化	○



営業車は省エネ法に基づいた燃費基準の達成と低排出ガスの認定を得ています。

評価と次年度の取組内容

数値目標には及ばぬものの、売上高原単位評価で評価することができました。現場の種類が限られていた月は、同じ車を利用することで燃料の消費を抑えることができました。

また、今期から毎月20日に車の総走行距離の記録を始めました。この記録を元にこれまで分析できなかった車ごとの走行距離や使用頻度の高い車の把握ができました。

さらに、ガソリンのレシートを参考に車ごとの燃費調査も開始しました。燃費数値は各車両全て正しく出るまでにはまだ検討が必要ですが、ガソリン車とディーゼル車の全体の燃費はそれぞれデータが出せたので来期からはこれらを基準に燃費評価を始めていこうと思います。

各車両の燃費を計測

ガソリンを給油した際のレシートを元に従業員には車ごとの給油した燃料を報告してもらいます。

<報告方法>

レシートの裏面に車種を書いてレシートボックスに提出



毎月20日、各車両担当者に総走行距離を報告してもらいます。



走行距離を集計し、燃費を計算したグラフを掲示させました。



一般廃棄物の削減



数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
目標696kg ⇒実績589kg 目標100% ⇒実績85%	○
取組計画	達成状況
・分別の徹底	○
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○
・帳票見直しによる印刷物の削減	○
・梱包材の再利用	○



左から可燃ごみ、ペットボトル、カン、ビン、ペットボトルキャップ

評価と次年度の取組内容

両面印刷でコピー用紙の使用量を削減、また、総務では経費支払い等の際に、封筒の再利用を行いました。

春から夏にかけて一気に弁当ガラのごみが増え、かさが増えた分ゴミ袋も消費しましたが、来期は一人ひとりの責任でごみを圧縮させてもらうよう周知させます。



昨年からペットボトルキャップも分別しております



混合廃棄物の削減



数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
目標44 t ⇒実績87 t 目標100% ⇒実績195%	×
取組計画	達成状況
・作業ミスによる廃棄量の削減	○
・分別状態の確認	○
・ゴミの圧縮	○



防水改修工事は、既存の防水材を剥がし撤去する必要があります。この際に持ち帰ったものが廃棄物となります 😞

評価と次年度の取組内容

上半期は不良在庫の処分や社内整理で廃棄物の量が目立ちましたが、5S活動を徹底できる土台がさらに整いました。そして、年間を通して、作業ミスによる廃棄物の発生はありませんでした。

しかし、4月からはスーパー厨房の塗床改修が夜間に始まり工事件数の増加、また、5月6月はマンション大規模改修とスーパー屋上駐車場防水改修が同時進行し、例年にないほどの廃棄物が発生しました。改修工事は現場の既存の床や防水材を撤去し持ち帰るため、施工面積が増えれば増えるほど廃棄物として処分しなければなりません。材料が梱包されていたダンボール等は古紙として、また工事の際に持ち帰りの金属は金属類として分別できるので継続して徹底していきます。

3Rの取り組み

事業外や事務作業で発生する廃棄物については、簡単に捨てない**リユース**、必要でないものは買わない**リデュース**に努めると同時に、カン、ビン、ペットボトルはもちろんのこと、ペットボトルキャップも**リサイクル**が可能な資源については規定に従った分類をしております。

古紙については第3日曜日までに地域の子ども会のリサイクルに出せるようにまとめます。

また、廃棄物の分類も適切に行っております。事業上排出される合成樹脂やアスファルトルーフィングなどといった産業廃棄物や使用期限の切れた不良在庫の廃液については、適切な処理を行なっただけの収集運搬業者に委託し、その都度マニフェスト発行を義務付けております。

廃材を有価物に ～金属類の分別～

工事によって発生した金属系の撤去廃材についても、分別を行うことによって産業廃棄物ではなく有価物として売却を行っております。上の写真のように、売却が可能と思われる金属類と、売却は不可であっても資源として引取りを行なって貰える廃缶とを分別しており、今期は1年間に43,400円の売却益が発生しております。

この利益に関しては、会社で行う行事の際に全額を社員に還元することが決定しており、社員の分別に対する意識、モチベーションの向上につながっております。



左奥が一般廃棄物の保管小屋で、手前にあるのが産業廃棄物（混合廃棄物）を処理するためのバツカンです。



10月に廃液処理業者に引き取ってもらいました。



工事で発生した金属類を入れています。



工事で使用した一斗缶が大量に発生します。金属類の資源として引き取ってもらえると廃棄物の量も削減出来てありがたいです 😊



水道水の削減



数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

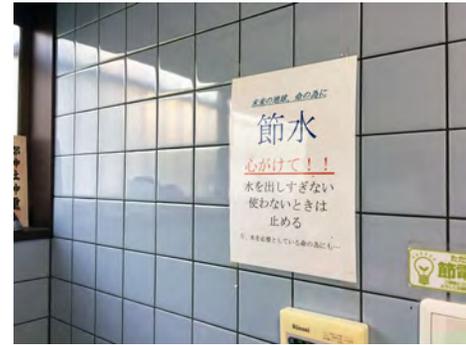
数値目標と実績	達成状況
目標108m ³ ⇒実績115m ³ 目標94% ⇒実績100%	×
取組計画	達成状況
・蛇口の締め忘れの確認	△
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○

評価と次年度の取組内容

社員増員に伴い、倉庫2階に洗面台を増設させ、洗濯機を回す頻度も増えました。社員にとって使いやすくなったものの、その分使用量削減に至りませんでした。

また、猛暑日が続きゴーヤの栽培は例年よりも水やりの頻度が増えました。

それ以外に挙げられる原因としては、ホースの蛇口閉め忘れ、1階キッチン蛇口の水の閉まりが悪く、水がぼたぼた出ていることが挙げられます。おそらく原因であるパッキン等を交換するように検討しています。



昨年（2015年度）の節水ポスター



今年の節水ポスターは蛇口の目線に合わせて位置を変えました。



PRTR 物質使用量の削減



数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
目標4,857kg ⇒実績4,849kg 目標99% ⇒実績99%	○
取組計画	達成状況
・有害性物質の表示の徹底	○
・容器の蓋の徹底	○
・作業ミスによる使用量増加の抑制	○
・代替物質の検討	◎



環境対応型材料「Dトップ ECO」は従来のトップコートと比べて臭いが少なく、施工上の健康面でも改善されました。

評価と次年度の取組内容

例年通りハケやローラーの洗い用に必要最低限溶剤を使用しました。2月からトップコートに環境対応型材料「Dトップ ECO」を取り入れ、屋根防水についてもトルエンやキシレン等を一切使用していないTXフリーの「FSコート・ゼロ」に材料を切り替えました。その結果、溶剤の使用量が164%から99%へと大幅に削減することができました。これからも特定化学物質を含まない環境施工に取り組んでいきます。



グリーン購入



数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値目標と実績	達成状況
目標35%⇒実績43%	○
取組計画	達成状況
・有害性の少ない資材の購入	○
・省エネ性能の高い電気製品の購入	◎
・燃費のよい自動車の採用	○
・グリーン商品の積極購入（エコマーク作業服など）	◎



評価と次年度の取組内容

目標達成。日頃消耗していくコピー用紙やファイルなど、グリーン購入の表示があることを確認してから購入しています。購入する商品の種類が限られるため、大幅に目標を達成することはありませんでした。グリーン購入が把握のできる商品はネットの購入が中心なので、それ以外の購入商品についても調べて社内で周知させていきたいです。

作業着もエコマークです。

このマークは製品全体（ボタンなどを除く）に対してペットボトルをリサイクルしてできた合成繊維が50%以上使用されています。



工事施工上の環境配慮



活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

数値実績	
環境対応型防水材「ワンガード・ゼロ」使用量	66,780kg
取組計画	達成状況
・環境への負荷を軽減した工事	○
・材料を入れる18L缶はリサイクル缶を使用	○
・屋根の塗装、屋上防水トップは遮熱塗料を薦める	○
・水性材料の採用	○

材料が剥がせるラミネート缶



1液型ウレタン防水材が入れている缶は、内部に特殊なコーティングがなされているラミネート缶です。

写真のように缶内部で硬化したウレタン防水材は缶表面に強固に付着することなく、綺麗に剥がし取ることが可能となっております。

これにより、これまではリサイクルが困難で産業廃棄物として処理していた缶も、完全に資源としてリサイクルを行うことが可能となりました 😊

評価と次年度の取組内容

工事施工上の環境配慮に関しては、弊社が使用している環境対応型防水材「ワンガード・ゼロ」の使用量を計測しました。

特定化学物質を含まない環境対応型の材料はまだまだあるので来期に向けて計測していく予定です。



活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組計画	達成状況
・地域の環境活動に積極的に参加	◎

古紙回収で地域子ども会への活動協力

古紙、ダンボール、コピー用紙は分別を行い、毎月第3日曜日に地域の子ども会に譲渡しています。

会社の業務以外にも地域の子どもの育てるふるさと祭りへの協賛寄付、会社の周りの雑草手入れや荒れた竹藪を整備するボランティアも行っております。

今後も少しでも近隣住民の方々のためになるよう、地域で行なっている資源ごみの回収や清掃活動などには積極的に参加していきます。



ダンボールは大量に発生します。ヒモで縛ってまとめるのが毎月結構な力仕事です。



環境関連法規等の遵守状況確認および評価ならびに違反、訴訟等の有無

適用される法規制	摘要される事項（施設・物質・事業活動）
消防法	各種溶剤の保管
化学物質排出把握管理促進法	各種溶剤の使用（報告義務対象外）
騒音規制法	該当なし
振動規制法	該当なし
廃棄物処理法	一般廃棄物（事務所から出る紙くず、繊維くず、木くず、生ゴミ等）
	産業廃棄物（工事に伴う金属類、廃プラ類、廃油、紙くず、木くず等）
グリーン購入法	購入品・調達品、購入先・外注先
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機
その他・顧客要求事項	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の営業中の施工配慮。分割施工等。 ・材料の搬入搬出の時間制限。 ・施工中に扱う化学物質の臭気対策。 ・工期厳守

確認および評価の結果、環境関連法規等は遵守されておりました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。



外部からの苦情

これまでに苦情はありませんでした。



環境保全活動の取り組み紹介

eco 検定に 2 名合格

環境教育として eco 検定を推進しております。eco 検定とは、広く環境問題に関する知識を問われる検定です。複雑で多様化する環境問題を幅広く身に付けられるとして、今年度は 2 名のエコピープルが誕生しました。来年も合格者を増やして社員全体のモチベーションを上げていきます。

合格者の声

環境問題が幅広く学べました。そして、エコアクション 21 を推進していく必要性も改めて感じる事ができました。
(営業部 神谷)

環境問題について興味を持つようになりました。また、物を買うときに、環境にいい物かどうかなど考えるようになりました。(総務部 高寺)

目指せ！エコピープル



会社で購入したテキストと問題集は共有して使用しました。

5S活動 ～整理・整頓・清掃・清潔・しつけ～

弊社では今期も継続して、要るものと要らない物を分ける「整理」、ものをいつでも取り出せる「整頓」、隅や裏まで手を抜かずに行う「清掃」上記3つの行動(3S)を維持する「清潔」、職場のルール・規律を守る「しつけ」以上5つの行動を「5S活動」として、社員一人ひとりが社会人の基本として心がけるようにしております。

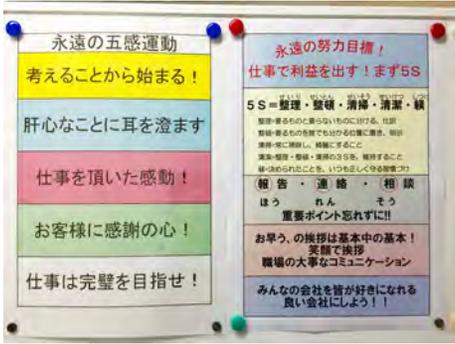
これらの行動を実現することにより、無駄な仕入れ廃棄物の分別などを促すことが可能となりました。



倉庫の材料の先入れ先出し法を実践しております。



資材倉庫



茨木事業所、資材倉庫ともに 5S 活動や実践すべき活動は掲示して共有しています

生物多様性の保全取り組み



社長が管理している本社敷地内の畑では今期も無農薬の有機栽培野菜が収穫されました。収穫した野菜は社員全員に分配しております。

秋・冬は水菜、大根、キャベツ、白菜、ブロッコリー、かぶ、ほうれん草、ネギ、菊菜など…

ほうれん草を収穫しています。
無農薬の有機栽培にこだわり、社員からも喜ばれております。
(代表取締役 西岡 勝男)



大根



ネギ



ほうれん草

春は玉ねぎ、芽キャベツ、ブロッコリー
夏はトマト、ナス、キュウリ、ピーマン、ししとう、ゴーヤなど…

6月は夏野菜の初収穫です。
今年もたくさん出来てます。
(経理部 高寺)



芽キャベツ ブロッコリー



ナス キュウリ ピーマン トマト



夏野菜の収穫



緑のカーテンとして会社の窓面で育てたゴーヤが収穫されました。(営業部 柿木)



会社周囲の花の育成

事務所の敷地内では総務部を中心に花を育てています。緑化を行うことでCO2削減に効果があります。また、毎日育てることで、花が綺麗に咲いたときには、見て楽しむことが喜びです。

ここ最近では、来客の方から目に留めていただく機会が増えたので今後も続けていきたいと思えます。



ヒメヒオウギズイセン



ナadeshiko



花以外にもバジルやパセリも育て始めました。



総務部では春に向けてチューリップの球根を植えました。

緑化活動 植樹祭の参加

3月、東大阪市にあります「中環の森」にて第6回植樹祭を行いました。弊社がエコアクション21の認証登録制度や、こうした植樹祭に参加するきっかけとなったのは、大阪府中小企業家同友会の環境部会からのお誘いがきっかけです。環境部会では植樹祭を大阪の緑化活動として毎年行い今年で第6回目を迎えました。



植樹を終えて同友会企業と市の担当者様と

当日は、天候にも恵まれ40本の春の木を無事に植えることができました。



環境管理責任者 西岡 環境事務局 神谷

1 液型ウレタン防水材の採用

防水工事には1液型の環境対応型防水材「ワンガード・ゼロ」を採用しています。今期の使用材料を集計したところ、合計で66,780 kg (3,710 缶) でした。来期も環境施工に努めていきます。

ワンガード・ゼロの環境配慮事項 😊

- ・1缶のみで材料の攪拌が必要なし
→攪拌機の電力の削減・攪拌する労力の削減
- ・廃材の削減につながる
→容器の空き缶が50%削減(2液型比)
- ・TXフリー
→有機溶剤のトルエン・キシレンを含まない
- ・シックハウスを引き起こさない
→厚生労働省がガイドラインに示す14の有害物質を含まない
- ・F☆☆☆☆
→ホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を取得

<ショッピングセンター屋上駐車場>



Before



After

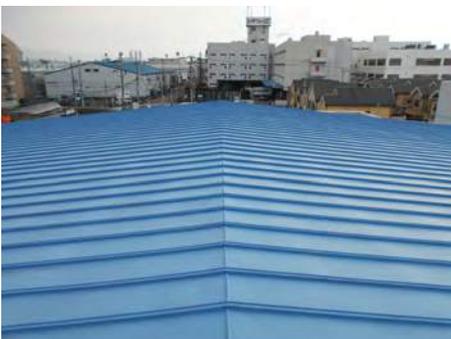


施工中

遮熱塗装で太陽光による室内の温度上昇防止

工場や倉庫等の屋根塗装においても遮熱塗料を採用しました。太陽光を反射させることで、夏の暑い日でも屋根面の温度上昇を抑えます。写真の物流倉庫はETV(環境技術実証事業)の実証がある日本ペイント株式会社「サーモアイ Si」の遮熱塗料を使用しました。今後も屋根塗装は遮熱塗装を勧めていきます。

<物流倉庫>



Before



After



施工中

低臭 MMA 樹脂で臭気を気にせず短時間施工

写真はショッピングセンター内にある惣菜調理場です。低臭 MMA 樹脂「ディオフロア低臭」は従来の MMA 系樹脂に比べ、施工時の臭気が大幅に削減され、皮膚刺激性もほとんどありません。また、年中無休の店舗や工期が取りづらい改修場所でも速硬化タイプなので、時間制限のある施工にも最適です。面積にもよりますが、店舗閉店後でも夜間半日あれば施工は可能です。

<惣菜調理場>



Before



After



施工中

その他の報告

ノンスチ研究会発足

特定化学物質に指定されているスチレンですが、ディックプルーフイング株式会社が販売するFRP防水材において、原材料にスチレンモノマーを含まないノンスチレンの防水の研究集団として「DPCノンスチ研究会」が設立されました。弊社の代表取締役西岡勝男は、初代会長職として就任しました。施工面と営業面でレベルアップを図り、防水業界をリードしていく試みです。

西部地区では8月に技術交流会も開催され、さらなる技術の向上に励んでいきます。

ノンスチレン樹脂で施工してみても

ノンスチレン樹脂「コロテクト NEO」は特定化学物質であるスチレンを含んでいないので、これまでのFRP防水工法と違い、臭気が大幅に削減されました。近隣の方々や、施工する私たちにとっても健康管理、安全管理の面で改善されました。



2月 ノンスチ研究会の会長職に就任した代表取締役 西岡 勝男。



8月 技術交流会の様相



「コロテクト NEO」で施工中

特化則（特定化学物質障害予防規則）に該当しない材料を使用しております

2016年9月21日、厚生労働省は日本ウレタン建材工業会に対し、発がん性物質「MOCA（モカ）」による健康障害防止対策の徹底を要請しました。

「MOCA（モカ）」とは一般的にウレタン樹脂を固める硬化剤として使用されているものです。現在「MOCA（モカ）」の製造工場では、7人の膀胱がん発症が確認されており、将来的に世界各国同様に防水材料に使用禁止が想定されています。

弊社が所属するディックプルーフィング工業会では業界の中で先駆けて特化則（特定化学物質障害予防規則）に該当しない商品を発売し、今後さらに積極的に商品の切り替えを行う方針を決議しました。

弊社の取り扱うウレタン防水材料はもちろん「MOCA（モカ）」を含んでおりません。今後も施工者の健康確保はもちろんのこと、近隣の方々および建物自体への「安全・安心」を確保させ、環境施工を推進いたします。



代表者による全体の評価と見直し

今年度は環境保全活動に CSR 活動を加えて、企業が社会的に責任を果たすとはどういうことか、当社の場合何が該当しどのような活動をすれば良いのかを論じてきました。事業活動を続けていくにあたり、当社の経営理念にてらし考えていくことが常にベストであると信じて活動しています。

経営理念には 1. 技術の研鑽、2. 環境の改善、3. より良い工事と共育ち、をうたっております。

1. 技術の研鑽においては材料供給メーカーと共に有害物質撲滅の姿勢で臨み、スチレンモノマーを含まない原材料を使用していくための「ノンスチ研究会」が設立されました。メーカーを中心に最初は30社ほどの参加でこの取り組みが始まりましたが、今後更に啓発していくことを期待され、会長職を任じられております。新技術の公開施工を当社が承り、ノンスチレンによる FRP 複合防水工事を福井県の大型スーパーマーケット屋上駐車場に施工し、業界月刊誌「防水ジャーナル」にも報じられました。

2. 環境の改善は事業を通じて製造現場や居住空間の改善をなすものとして努力してきましたが、それとともに当社に働く、従業員の労働環境の改善向上を目標とし努力していきます。

3. より良い工事と共育ち。より良い工事の提供は、地球環境保全の精神を除いては実現しないものです。大切な資産を長久に使用できるよう支えていく完璧な工事を共に学んでいきます。



 **西岡化建株式会社**

茨木事業所：大阪府茨木市郡5丁目21番16号

TEL：072-643-1125

FAX：072-643-1127

E-mail：info@nishiokakaken.com

URL：http://www.nishiokakaken.com

